(様式4)

令和6年度 自己評価結果報告書

学校名 湯梨浜町立羽合小学校

校長名 知久馬 和紀 印

1. 学校の教育目標

「やさしく かしこく たくましく」

～仲間とともに 地域とともに 未来を切り開く子どもの育成～

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- 落ち着いた生活の中で、「個」と「集団」の力を伸ばす。
- 育てたい（身に付けさせるべき）資質・能力が身につく授業改善を進める。
- 地域とつながり、地域に根ざした教育活動を充実させる。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
(1)心を耕し豊かな心を育む【やさしく】 ○あたたかい学級づくり ・児童アンケート ア「友だちは自分のいいところを分かってくれていると思う」 イ「自分にはいいところがあると思う」 A：肯定的評価 85%以上 B： 60%以上 ○友だちとのよりよい関係の構築 ・児童アンケート ウ「誰にでも、自分からあいさつをしている」 エ「友だちをよぶときは、『さんづけ』をしている」 A：肯定的評価 80%以上 B： 60%以上	B	→ ア 中間期87.0% 後期87.5% イ 中間期81.8% 後期79.7% ・数値としては下がっているものもあるが、見取りとしては、友だちのよさに気づく子が増えたと感じている。 ・ありがとうカードをもらった子がうれしそうにしている姿が各学年で見られた。 → ウ 中間期70.0% 後期68.0% エ 中間期85.5% 後期84.7% ・あいさつマスターの取り組みが励みになり、あいさつにがんばろうとする姿が増えてきた。あいさつの声も大きくなってきている。
(2)未来を切り拓く資質・能力を育成する【かしこく】 ○学習習慣と基礎基本の定着 ・算数科における単元テスト 「知識・技能」の得点率 A：低学年90%以上 中学年85%以上 高学年80%以上 ・家庭学習の提出率（評価時期：各学年で1週間を決める。） A：90%以上	A	→ 低学年 中学年 高学年 中間期90.5% 80.7% 81.6% 後期90.2% 78.8% 78.4% ・朝学習の成果として、継続してそれぞれの学年に合わせたプリント学習等に取り組んだことで、計算に苦手意識がある児童も最後まで問題に取り組むことができるようになったり、意欲的に問題に取り組んだりするようになった。 → 中間期94.9% 後期94.6% ・担任の声かけや保護者の協力のもと、家庭学習の提出状況は良好である。

(様式4)

<p>○児童が意欲的に学習参加する授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none">・児童アンケート <p>「ノートやワークシートに自分の考えを書いていますか。」</p> <p>A：肯定的評価 85%以上</p> <ul style="list-style-type: none">・教師アンケート <p>「児童に問題を解くときに、線を引いたり、数や言葉を書きこませたりしていますか。」</p> <p>A：肯定的評価 90%以上</p>		<p>→ 中間期 86.7% 後期 86.0%</p> <ul style="list-style-type: none">・ノートに自分の考えを書く活動を丁寧に行ったことで、見通しをもって学習に臨む児童が増えた。 <p>→ 中間期 75.0% 後期 86.9%</p> <ul style="list-style-type: none">・文章を書くことに苦手意識をもっている児童も、自分の考えた跡を残すことができるようになった。また、文章表現が苦手でも、図を書いて説明しようとする児童も出てきた。
<p>(3)健康でたくましい心と体づくりを行う【たくましく】</p> <p>○基本的な生活習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none">・ぐっすりデー <p>A：達成率 85%以上</p> <ul style="list-style-type: none">・健康アンケート <p>「ゲームやインターネットをするときの約束の有無」</p> <p>A：達成率 80%以上</p> <p>○あきらめず粘り強く身体づくりに取り組む児童の育成</p> <ul style="list-style-type: none">・児童アンケート <p>「体育の学習で、目標を持ってねばり強く取り組むことができましたか。」</p> <p>A：肯定的評価 80%以上</p>	<p>B</p>	<p>→ 中間期 77.7% 後期 78.4%</p> <p>→ 中間期 87.2% 後期 71.3%</p> <ul style="list-style-type: none">・児童が主体となった取り組みを全校に伝えることで、児童の意識や習慣などが少しずつ改善しつつある。 <p>→ 中間期 92.8% 後期 92.1%</p> <ul style="list-style-type: none">・がんばりカード等で目標やがんばりを可視化し、継続して活動に取り組むことができている。
<p>(4)地域とともにある学校づくり【開かれた学校】</p> <p>○積極的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none">・保護者アンケート <p>オ「学校は、参観日や各種たよりやホームページなどで、子どもたちの様子をよく伝えている。」</p> <p>カ「私は学習参観や学校行事に、積極的に参加している。」</p> <p>A：肯定的評価 85%以上</p> <p>○地域に学ぶふるさと教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・単元計画に基づき、地域の人、もの、ことと深く関わる学習ができたかどうかで評価する。	<p>A</p>	<p>→ オ 中間期 88.3% 後期 89.7%</p> <p>カ 中間期 88.9% 後期 91.5%</p> <ul style="list-style-type: none">・日々の学校ホームページの更新や各種たよりの発行等、情報発信ができている。行事への参加も増えている。 <ul style="list-style-type: none">・読み聞かせ、学習支援、学習補充、白衣の修繕等、日常の学校生活における学校支援ボランティアの活動が順調に進んでいる。 <ul style="list-style-type: none">・生活科や総合的な学習の時間など、単元計画に基づいて、町探検に出かけるなど、地域の人、もの、ことに関わる学習が進んでいる。

(様式4)

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	<ul style="list-style-type: none">・保護者、地域の方々のご理解ご協力のもとに、本校の教育目標の達成に向けた教育活動を展開することができた。・学校経営を支える4つのプロジェクトを構築し、日々の取組を進めた。プロジェクトリーダーが中心となり、実態を踏まえて具体的な方策を検討し、それぞれの活動を行った結果、目標が概ね達成された。・後期の児童アンケートにおいて、肯定的評価90%以上の項目が20項目中12項目あり、取組の成果と捉えている。また、後期の保護者アンケートでは、「学校」が主語となる全ての質問項目において、前期を上回る肯定的評価をいただいた。

◎「3・4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
自己肯定感の醸成	<ul style="list-style-type: none">・肯定的な声かけを中心とした学級づくりの推進
基礎・基本の定着	<ul style="list-style-type: none">・基礎基本の徹底に係る授業改善の推進・学習習慣の定着を図るための家庭学習との連動
基本的生活習慣の徹底	<ul style="list-style-type: none">・P T A活動や保護者と連携した施策の展開